

“次世代のまちへの挑戦”

自民党真政 さいたま市議会議員

井原ゆたか

井原ゆたか市政レポート vol.5

(発行) 井原ゆたか事務所 さいたま市中央区下落合1071-1 MIビル4 3F

活動報告

中央区の身近な問題から、さいたま市の将来像に関わる問題まで、幅広く行政へ提言をしております！

1 中央区での実績

2 文教委員会にて議論

3 9月定例会議案質疑

ご挨拶

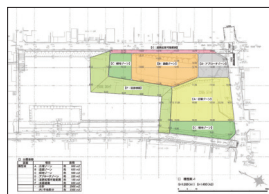
さいたま市議会では、5月に市長選挙、7月に市議会議長の交代と大きな政局の動きもあり、一方で市立病院建設工事入札に疑義が生じたことから調査を行う特別委員会も設置され、その中で自民党会派も2つに割れることになりまして、市民の皆様にも大変ご迷惑をおかけしております。自民党1期生の最年少議員として私も政局に悩まされましたが、我々がずっと暮らし続けていくこの街を守るために、保守の思想をもとに再び1つの自民党会派としてまとまり、政局ではなく政策を議論できるように、若手としての想いを議会へ伝えていかなければならないと思います。

一方で、国から大宮駅周辺が都市緊急再生地域の指定を受けたことから、ついに変革のステージに立ちました。市としてのまちづくりのビジョンを早急に固め、この街の利便性と魅力を高めていく必要があるでしょう。私も、自分ならではの発想を積極的に市政へと発信してまいります。

井原ゆたかの中央区での実績

① 旧グリーンセンター与野跡地が公園に！

H27年 9月一般質問で私が提案したことを皮切りにいよいよ計画が動き出しました。グリーンセンター跡地はH14年に稼働を停止してから長い期間空地になっており、周辺地域からは公園としての利用が求められておりました。現在は、住民の方々とも協議を重ね、**東側エリアを公園**にする計画を作成中です。**H30年に設計、H31年に整備着手**を予定しております。



跡地の半分の用地を公園として整備する方針です。

② 上峰1-2丁目に与野西中学校選択学区導入！

上峰 1-2丁目地域は、現在は与野本町小学校から与野八王子中学校への学区でしたが、**来年度より与野西中学校への進学を選ぶことも可能になります**。本町小から与野西中へ約9割の子供たちが進学する中で、該当地区の子供たちだけが八王子中学校への進学となっており、本町小の6年間で築き上げた友人関係を中学生活へ繋げていけない課題もありました。選択学区導入によって、子供たちの教育環境がより良いものになることを望みます。



※本件は、公明党さいたま市議団の井上伸一先生と共に該当地区の意見をまとめ、申請に至りました。



本町小からの要望を受け、通学路の側溝に注意パールの設置も行いました。

③ 認可保育施設の拡大！

若い世代の人口流入が多い中央区において、H29年度は上落合・下落合地域を保育園整備の最重点地区としてさいたま市から指定を受けたことで、認可保育施設を新設し、**中央区だけで保育人数を125名増やす**ことが出来ました。さいたま市ではH29年4月に待機児童ゼロを達成という報道がありましたが、実情は保育不承諾も多く出ており、未だに十分な子育て環境を提供出来ておりません。働く女性を支援するためにも、保育施設・学童施設の在り方を今後もしっかり検討していきます。



与野駅西口に2カ所、さいたま新都心駅のホテルメトロポリタンにも1施設が新設されました。

文教委員会にて議論

① さいたま国際マラソン

今年度のさいたま国際マラソンは定員16,000人に対し、9月現在で約14,000人に留まり、**近年のマラソンブームに関わらず、定員割れ**となりました。その背景には15,000円という高額な参加費、郊外のアップダウンの激しいコース設定、行き届かないランナーサービスなどの課題が一向に改善されない点にあります。一方で、自治体負担金額は約3億円弱と相変わらず高い支出となっています。私は2月の予算委員会の時点で、この状況を予測して課題に対する**抜本的な改善を市に求めました**が、市は全く対応をせず、今の状況となっております。市民の税金から行われるイベントですので、本責任の所在を今後徹底的に追求してまいります。



私も2年連続完走しており、自分の経験を踏まえて議会に提案しております。

② 通学区の見直しを提案

さいたま市となり15年が経ち、各地域の人口やまちづくりの状況も大きく変化がある中で、通学区に関しては選択学区の設定はあるものの、**全市的に見直されたことはありません**。そのため、旧市境にある学校や、人口が飛躍的に伸びている地域においては、隣接する学校において、一方が過規模校の問題を抱え、もう一方は1学年1クラスになるような学校も出てきてしまっている現状です。さいたま市を教育都市として成長させていくためにも、**通学区の再整理は行うべきではないかと提言**しました。自治会やこども会などの地域組織の区分けもあり、難しい問題ではありますが、課題を放置するべきではなく、解決策を模索していく必要があると考えております。

③ 与野中央公園の複合スポーツ施設

埼玉県との協議も基本合意に至り、いよいよ**今年度より与野中央公園の基本計画に着手**します。約30年間放置されていた中央公園の整備がこれようやく目に見える形で始まります。私は、中央区役所に隣接する**与野体育館および下落合プールを中央公園に移設**し、複合スポーツ施設として整備することをH28年6月の一般質問にて提案致しまして、H29年9月の議会ではこの施設の整備計画や将来ビジョンについて質問致しました。与野中央公園は中央区の中心の利便性が高い場所に位置しており、スピード感をもって市民に愛される公園へと整備していくことを引き続き要望してまいります。



錦糸公園は錦糸町駅付近に位置し、墨田体育館の建設に伴い、2011年にリニューアル。区内外から多くの人が訪れる公園となりました。

9月定例会議案質疑に会派を代表して登壇

① H28年度決算議案に対する指摘

一般会計および特別会計の歳出歳入の視点から、H28年度の**都市計画税が増収している**にもかかわらず、**土木費が減少している**ことを指摘しました。都市計画税は、まちづくりに使うために設けられた目的税であり、行政が進める区画整理や再開発などの事業に用いることが筋であります。一方で、さいたま市において上記の事業進捗は、前年度対比で、区画整理は93%、再開発は32%しか進められておらず、**イベントばかりに予算を使うのではなく、街への投資の必要性**を改めて訴えました。

② 地域公共交通協議会の設置の目的は？

本協議会は今後のさいたま市における鉄道やバスなどの公共交通網整備の在り方について、有識者や市民の方々から意見を募り、検討を進めるものです。しかし、さいたま市には様々な上位計画があるものの、具体的なまちづくりのビジョンがありません。さいたま市で今後取り組む事業として、大宮駅グランドセントラルステーション化、地下鉄7号線延伸、東西交通大宮ルートが取り上げられている中で、**それぞれの具体的な検討を早急に進めるべき**だと提言しました。



H29年6月の渋谷議員の一般質問にて提示された大宮駅の将来ビジョン。
大宮駅が生まれ変われば大きな経済効果が見込まれます。

井原ゆたか プロフィール

昭和58年1月13日さいたま市生まれ(34歳)

与野本町小学校 卒業

麻布中学校・高等学校 卒業

東京大学理学部天文学科 卒業

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了

平成22年 東芝ソリューション株式会社 入社

平成25年 トヨタ自動車株式会社 入社(出向)

平成27年 さいたま市議会議員 当選

ご意見、ご要望などありましたら下記連絡先にご連絡ください



井原ゆたか事務所

〒338-0002 さいたま市中央区下落合1071-1 MIビル4 3F

TEL:050-3418-7058 FAX:050-3588-4018

Email:contact@yutakaihara.jp

井原ゆたか
公式HP

<http://www.yutakaihara.jp>

